

イデックスオイルレポート ~For a week~

株式会社新出光

【NY原油 概況】

●12日のWTI原油は、前日比0.16ドル安の57.44ドルとなった。
ウクライナのゼレンスキー大統領は11日、米政権が東部ドネツク州に非武装の「自由経済区」を設ける解決策を提案していると明らかにした。報道によると、ウクライナ政府高官はこの提案を受け入れる用意があると述べたといい、これまで和平の絶対条件としてきた領土問題での譲歩を示唆した形。ロシアのプーチン大統領が応じれば、経済制裁の解除につながると思惑から、午前中は売りが優勢だった。

●15日のWTI原油は、前日比0.62ドル安の56.82ドルとなった。
ロシアによる侵攻の終結に向けた和平案に関し、停戦後の再侵攻を防ぐための確固とした「安全の保証」があれば、北大西洋条約機構(NATO)加盟を断念する用意があると表明。

●16日のWTI原油は、前日比1.55ドル安の55.27ドルとなった。
ロシアのウクライナ侵攻終結に向けた和平案を巡り、和平案を主導するトランプ大統領は、和平合意に「これまでになく近づいている」と述べた。

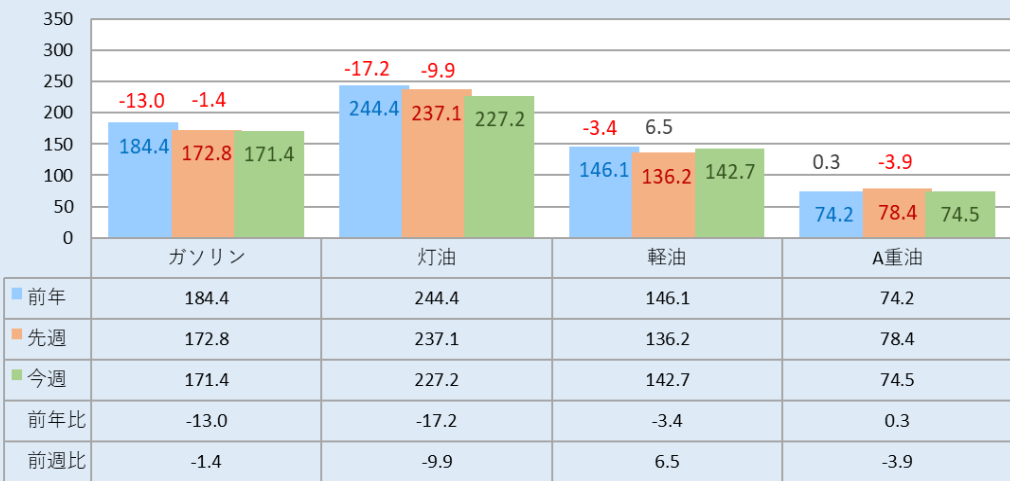
●17日のWTI原油は、前日比0.67ドル高の55.94ドルとなった。
トランプ米大統領は16日、制裁対象とする全ての石油タンカーがベネズエラの港を出入りできないよう、全面封鎖を命じると発表。同国のマドゥロ政権を外国テロ組織に指定したとも表明した。

●18日のWTI原油は、前日比0.21ドル高の56.15ドルとなった。
ロシアがウクライナとの和平合意締結を拒否した場合の措置として、米政府がロシアのエネルギー部門を標的とした追加制裁を準備しているとの一部報道を受け供給不安が広がり、原油は買いが優勢となった。

2025/12/19 12:00現在 WTI原油 55.90ドル 為替 1ドル 156.85円

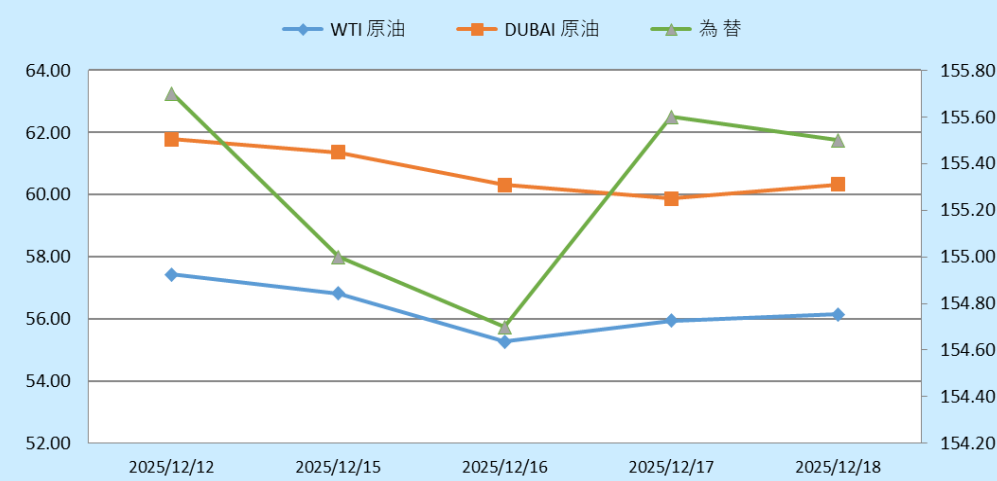
国内石油製品在庫 12月13日時点

単位/万KL



WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ

単位/円



【次回価格変動予想】

12/25～12/31

【市況総括】

ガソリン	➡	-2.5 ～ -2.0
灯油	➡	-2.5 ～ -2.0
軽油	➡	-2.5 ～ -2.0
A重油	➡	-2.5 ～ -2.0
LSA	➡	-2.5 ～ -2.0

※原油コスト前週比-2.5円～-2.0円
※補助金 前週比±0円
※現時点での予測です。

《今週》今週の元売り仕切り改定は、3社ともに原油コストは「-1.5円」、補助金は「±0円」、都合、全油種「-1.5円」の改定となった。
《来週》次回の元売り改定は、原油コストは「-2.5円～-2.0円」、補助金は「±0円」で、都合「-2.5円～-2.0円」の改定予測となっている。

【次世代エネ コラム】

< 核融合施設の誘致、青森県が表明 >

青森県は8日、国が次世代エネルギーとして活用方針を示すフュージョン(核融合)エネルギーの「原型炉」誘致に乗り出すと正式に表明した。宮下宗一郎知事は今月フランスを訪問し、建設中の国際熱核融合実験炉「ITER」などを視察する。核融合発電は太陽内部で起きる核融合反応を人工的に再現するもので、エネルギー資源に乏しい日本において「夢のエネルギー」として期待が高まり、世界中でスタートアップ企業が相次いでいるが、技術確立や商用化の見通しは未だ立っていない。

かつてITERの建設地を巡り日仏が競合した際、国内候補地だった青森県六ヶ所村には関連研究施設が設置された経緯があり、県はこの研究実績に加え、広大な土地や豊富な水資源を「圧倒的な地域優位性」としてアピールする。政府も6月に核融合国家戦略を改定し、2030年代の発電実証を目指す方針を示しており、首相の所信表明演説でも早期の社会実装が掲げられるなど、成長戦略の重要分野に位置づけられている。

宮下知事は会見で「エネルギーを制する国が世界を制する」と述べ、国際競争における早期実現の重要性を強調するとともに、青森県の立候補が国にとっても前向きな動きになるとの自信を示した。なお、原型炉の誘致を巡っては茨城県も既に表明しており、国内での誘致競争が動き出している。

【コラム出典】 朝日新聞

<https://www.asahi.com/articles/ASTD83PWHTD8UBNB003M.html>